

学年	高校3年	教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	3
教科書名	Vision Quest English Logic and Expression (数研出版)			副教材名	・スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社) ・入試必携英作文 Write to the point (数研出版) ・2027 年度用パワーマックス英語リスニング共通テスト対応模試(Z 会出版)		
コース・クラス	選抜理系						

I. 目標

1. 国公立と難関私大の合格を目指し、文法・語法問題で7割以上の正解を目指す。
2. 英作文（和文英訳・自由英作文）の問題で7割以上の得点を目指す。
3. 共通テストリスニング試験において7割以上の得点を目指す。

II. 授業のねらい

1. 難関大入試で頻出する英文法・語法事項を体系的に整理し、読解・英作文に生きる「使える知識」として定着させることをねらいとする。表面的な正誤判断にとどまらず、なぜその形・語法になるのかを説明しようとする態度を育てる。
2. 入試英作文において求められる、問いの意図を正確に読み取り、要点を押さえて簡潔かつ論理的に表現する姿勢を育てる。語彙・構文・論理展開を意識した反復練習を通して、自分の考えを英語で組み立てる思考力を養う。
3. 共通テストリスニング特有の情報量・話者数・スピードに対応できるよう、聞き取るべき要点を瞬時に判断する力を育成する。演習と振り返りを通して、音声情報を意味のかたまりとして処理する習慣を身につけ、安定した得点力の形成を図る。

III. 授業の進め方

1. 副教材『スクランブル英文法・語法』を中心に、毎時間の小テストで基礎事項の確認を行う。その後、重要事項を体系的に整理し、入試問題演習を通して実践的な運用力を養う。単なる正誤判断にとどまらず、根拠説明や誤答分析を重視し、「説明できる理解」を目指す。必要に応じて発展的な入試問題にも取り組み、難関私大レベルへの対応力を高める。
2. 『Write to the point』を用いて、頻出表現・基本構文の暗唱・例文化を行い、和文英訳および自由英作文の演習を段階的に実施する。
①構文確認 → ②短文英訳 → ③テーマ別英作文 → ④添削・書き直し
という流れを基本とし、添削指導とリライトを通して論理的で簡潔な英文を書く力を養う。適宜、過去の入試問題も扱い、時間内にまとめる実践力を高める。
3. 共通テスト形式の問題を定期的に扱い、事前の設問分析、聞き取りのポイント確認、解答後のスクリプト精読までを一連の流れとして行う。音声の意味のかたまりで処理する訓練を重ね、ディクテーションやシャドーイングを取り入れながら、安定した得点力の向上を図る。定期的な小テスト、課題提出を課す。
4. 分野横断型の総合演習を適宜実施し、国公立・難関私大の出題形式に即した実践演習を行う。答案作成後は解説に加え、解法のプロセスや時間配分についても確認する。

IV. 学習上の留意点

教科書や副教材で学んだことを土台に、難関私大・国公立大の入試で問われる発展問題に取り組みさせる時間を設ける。

V. 定期試験

1. 授業で扱った内容、指定した教材の範囲から主に出題する。
2. 初見実力問題と難関私大で過去に出題された入試問題と同じ問題形式で一部ずつ出題する。
3. 学習した内容の理解と定着の確認、さらに実践力を高める機会となるように意図して作成する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などから総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	※日大基礎学力到達度テスト対策特別授業	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。毎週スクランブル英文法・語法を用いて小テストを行う。 ・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。 ・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになる。 ・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いに注意しながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。 ・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。 ・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回には正しく解答することができるようになる。 ・難関私大レベルの発展問題の演習を取り入れることで、既習事項の応用力を養う。
	5	【入試必携英作文 Write to the point】 1～5	小テスト 提出物	
	6	【入試必携英作文 Write to the point】 6～10		
	7	【パワーマックス英語リスニング】 第1回～第4回		
		※スクランブル英文法・語法から毎週小テストを実施する		

二学期	9	【入試必携英作文 Write to the point】 11～18	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。毎週スクランブル英文法・語法を用いて小テストを行う。
	10 11 12	【パワーマックス英語リスニング】 第5回～第8回		<ul style="list-style-type: none"> ・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。 ・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになり、確実に定着させる。 ・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いにも気づきながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。 ・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。 ・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回には正答できるようにする。 ・難関私大レベルの発展問題の演習を取り入れることで、既習事項の応用力を養う。
		※スクランブル英文法・語法から 毎週小テストを実施する		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。